



根小屋小だより

子どもの根っこを太くたくましく ～一人ひとりの子の自己肯定感を育てる～
相模原市立根小屋小学校 令和8年5月1日 NO.2



「協力し、誰にでもやさしい 根小屋小」

校長 石井 弥生

この1ヶ月で城山の木々の色がまた鮮やかになってまいりました。子どもたちが使う昇降口の軒下にはつばめが巣をつくり、ひなの黒い頭が時折見え隠れしています。4年生はおたまじゃくしを教室で飼うそうで、石の入った飼育かごを大事そうに抱えて登校してくる姿が見られます。「先生、教室まで（おたまじゃくしを）見に来てね!」という元気な声に、朝からとても嬉しい気持ちになりました。

先日の保護者会全体会では、本年度の学校経営についてお話しさせていただきました。ご多用の中、ご参加くださいましてありがとうございました。

本年度も本校では学校教育目標に「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子の育成」を掲げ、「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」の3つの姿を目指してまいります。その中でも重点教育目標は「子どもの根っこを太くたくましく ～一人ひとりの子の自己肯定感を育てる～」です。自分を大切な存在だと思える根っこがあってこそ、子どもたちは未来へ向かって大きな花を咲かせることができます。

4月24日の児童集会では、運営委員会の子どもたちから今年度の本校のテーマが発表されました。その言葉は「協力し、誰にでもやさしい根小屋小」というものです。

自分たちで考えたこのスローガンの中に、「協力」や「やさしさ」といった、自己肯定感を育むために欠かせない大切なキーワードがしっかりと盛り込まれていることを、私はとても頼もしく感じました。同じ時間に行った、「新しい先生を紹介する〇×ゲーム」も子どもたちが企画・進行し、1年生も加わった全校児童での、和気あいあいとした楽しい時間となりました。

子どもたちの「こんな学校にしていきたい」という純粋な願いを大切にしながら、教職員、保護者、地域の皆様が一丸となった「チーム根小屋小」で教育活動を推進してまいります。子どもたちの健やかな成長のため、今後ともどうぞお力添えをお願いいたします。

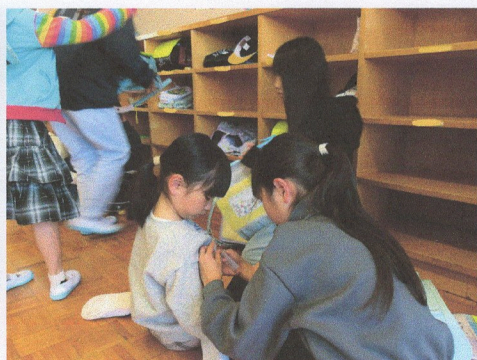
重点教育目標「子どもの根っこを太くたくましく ～一人ひとりの子の自己肯定感を育てる～」



見えない「根っこ」が強く張っていなければ、豊かな「葉」は育ちません。一人ひとりの「自分は大切な存在だ」という自信をすべての土台とします。



4月の児童集会



1年生と6年生の朝のひととき



「おたまじゃくしは いるかな？」



【駐車場使用時のお願い】

・事故防止のため、送迎時には、お子様から目を離さないようお願いいたします。

